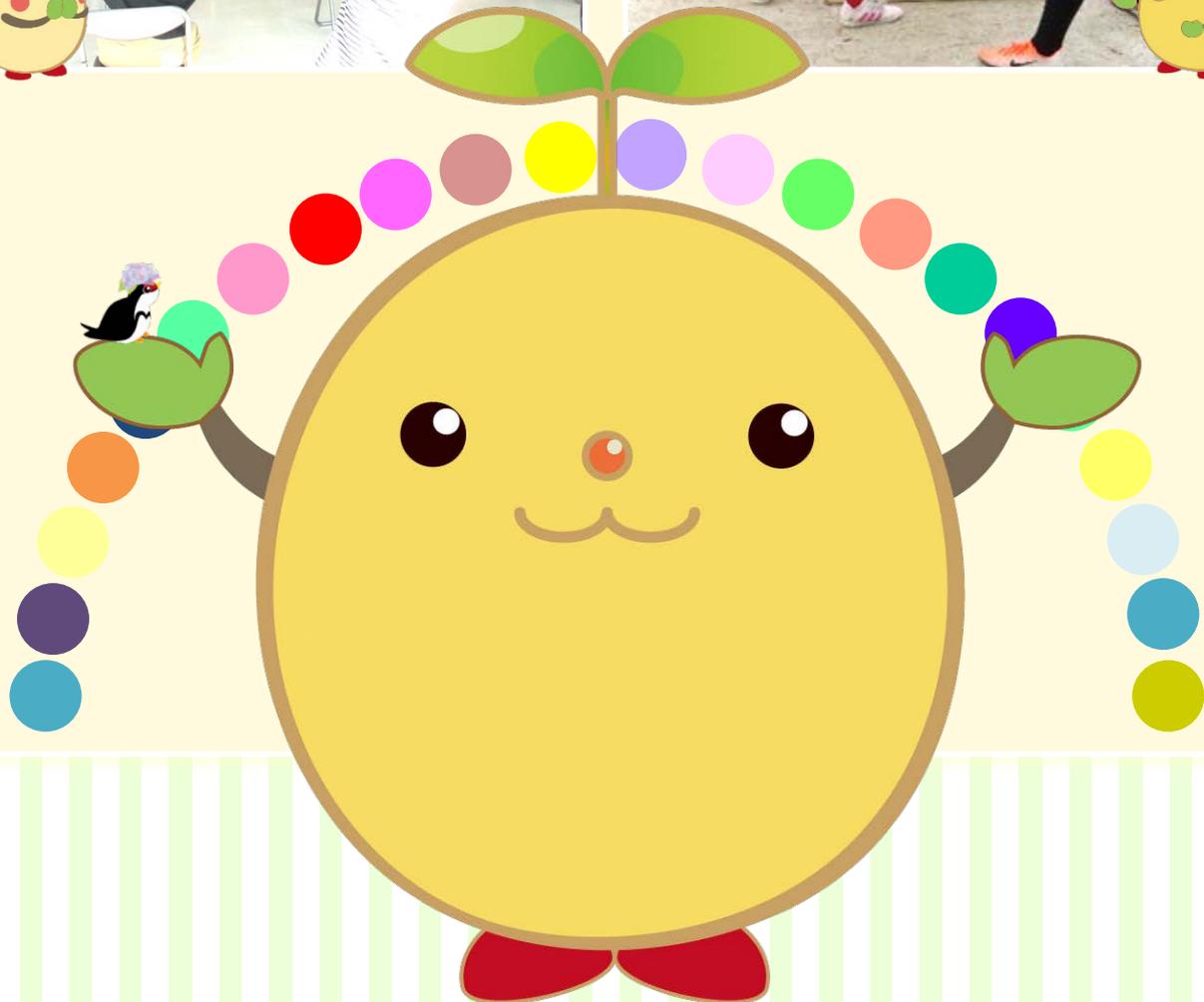


令和2年度実施分

協働事業・市民活動助成事業 報告シート

松 戸 市



はじめに

松戸市では、「豊かで活力ある地域社会の実現」をめざして、市民及び市民活動団体、民間事業者と市による「協働のまちづくり」を推進しております。

その支援として、市民活動団体・民間事業者の活力を活かし、市と事業の企画から実施までを協力して行う「協働事業提案制度」と、新たな市民活動の立ち上げや既存の活動を発展させる「市民活動助成制度」があります。

【協働事業提案制度】

協働事業は、市民活動団体や民間事業者と行政のそれぞれが強みの部分を活かし、身近にある地域課題の解決に向けて、協力して実施する事業です。

協働事業提案制度は、市民活動団体や民間事業者が、協働事業を提案し、市と協力して、その事業を企画し、実施する制度です。

令和2年度は1事業実施しました。

【市民活動助成制度】

新たな市民活動を立ち上げるため、又は、既存の活動をさらに発展させるための事業に要する一時的な資金を助成することで、市民活動の活性化を図り、豊かで活力ある地域社会の実現に貢献することを目的とします。

新しく事業を立ち上げるときや、今行っている事業を発展させたいときに提案できる「スタート助成（助成上限額10万円）」と、既存事業を拡大、発展させたいときに提案できる「ステップアップ助成（助成上限額30万円）」の2つの部門を設けております。

令和2年度は22事業（スタート助成17事業、ステップアップ助成5事業）実施しました。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりほとんど活動できなかった事業については掲載していません。

目 次

令和2年度協働事業・市民活動助成事業 事業概要

【協働事業】	ページ
○ 災害時要配慮者支援事業	小金原地区会（小金原連合町会）防災部 危機管理課 1
【市民活動助成事業（スタート助成）】	ページ
○ 地域の学び場創出「寺子屋こあら」事業	明地区こあら食堂の会 2
○ みんなで育て、みんなで食べる 沿道での食 べられる景観づくり事業	EDIBLE WAY(エディブルウェイ)プロジェクトチーム 3
○ [生きづらさ・ひきこもり]からだところに栄養 をあたえる場づくり事業	生きづらわーほりプロジェクト 4
○ 介護予防リーダーの育成と介護予防運動の 普及事業	松戸リーダーズクラブ 5
○ 居場所提供と家出女性保護事業	NPO法人仮り暮らし 6
○ 坂川水系自然環境向上事業	坂川の花桃を愛する会 7
○ 音楽活動による街の活性化事業	松戸音楽活動同好会 8
○ 冒険山開放に伴う見守り事業	冒険山開放委員会 9
○ イベント型＋交流型の居場所「悠々」の提供 事業	NPO法人さわやか福祉の会・松戸くらしの助っ人 10
○ 働くおとなのホッとできる居場所づくり事業	まちなす・Labo 11
○ 子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業	なないろのもり 12
○ 野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域 猫スタート相談会事業	松戸地域猫スタートサポート 13
○ プレママ教室事業	ぶぶぶママ大学 14
○ 歴史ある団体や地域企業と協働による地域 発展事業	北小金ドリームプロジェクト 15
【市民活動助成事業（ステップアップ助成）】	ページ
○ 外国人の子どものための新教室設立事業	認定NPO法人外国人の子どものための勉強会 16
○ 松戸市における災害支援の文化を創造する 事業	特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター 17
○ よく生き、よく逝くための基礎知識普及事業	一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター千葉 県支部 18
○ ギャンブル依存症予防啓発事業	公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 19
○ 笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部 20
● 協働のまちづくり基金について	21
● 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(令和2年度)	22

災害時要配慮者支援事業	団体名	小金原地区会 (小金原連合町会) 防災部
	事業担当課	危機管理課

事業費	364,926 円	自己資金	51,600 円	負担金	313,326 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

新型コロナウイルス感染拡大のため、計画をしていた全ての内容を実施することができなかった。

- ① 「小金原地区防災フェア」及び「要配慮者支援会議」：新型コロナ感染拡大防止のため中止。
- ② 「避難所部会」：2回開催（写真 左）



- ③ 「防災リーダー研修会」（オンライン開催）（写真 中央 及び 右）

演題：「要配慮者（災害弱者）支援と防災リーダーの役割」

講師：社会福祉法人館山市社会福祉協議会 主事 粕谷 聡 氏

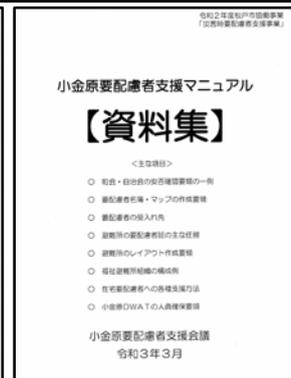
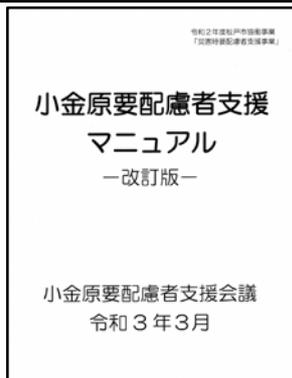
コロナ感染拡大防止のため、オンラインで開催し、DVDに収録し、関係町会に配布。

- ④ 「DWA T」（災害福祉支援チーム）関係

DWA Tの組織化を目標としていたが、平常時から災害時の対応を行うため、「巡回見守りを考える会」を開催（1回）した。DWA Tの組織化に関しては、専門職の人の参加が課題（ボランティアではなく対価を考慮する必要があるという現実）として残ったが、平常時からの「巡回見守り」体制を構築することが重要であると認識した。

令和2年度（2020年度）事業の成果

- ① 「要配慮者支援マニュアル」作成では、松戸市医師会災害医療救護対策委員会担当理事・和田忠志医師、危機管理課と共に会議を重ね、「本編」と「資料集」の冊子とし、各々1,000部を印刷。関係町会への配布を含め、危機管理課による松戸市内の他地区会での活用を図りたい。



【団体紹介】

平成28年度に当時の小金原連合町会（現小金原地区会）の中に防災部を組織し、福祉を考える必要性を具現化させている。「専門職部会」、「女性部会」、「避難所部会」、「災害福祉部」の組織化を進めており、平成30年度から3年間、危機管理課と共に松戸市との協働事業「災害時要配慮者支援事業」を推進した。

《問合せ先》 小金原地区会 防災部 松戸市小金原6-6-2 小金原市民センター内
 小金原地区社会福祉協議会内 電話/FAX：047-348-7115
 Eメール：rbwwp146@yahoo.co.jp 小金原地区会 防災部 副部長 細田耕司

<p>地域の学び場創出 「寺子屋こあら」事業</p>	<p>団体名</p>	<p>明地区こあら食堂の会</p>
--------------------------------	------------	-------------------

<p>事業費 43,815 円</p>	<p>自己資金 4,382 円</p>	<p>助成金 39,433 円</p>
---------------------	---------------------	---------------------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

「継続して学びの場を提供すること」という事業目的でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で継続しての開催が困難となりました。しかし、2021年3月に野外イベント「みらいフェスタ」が開催され、ここに出展という形に変更して事業を実施しました。

内容は、参加者の年齢、学年に合わせたクイズ、謎解き、クロスワードをこあらのスタッフが先生となり、助言をしつつも、子どもたち自らが解くというもので、学ぶことの楽しさを知ってもらえるような^{しつら}設えとしました。

また、今後継続して開催する「寺子屋こあら」のリーフレットを参加者に配布し、PR活動も行いました。



令和2年度（2020年度）事業の成果

イベントの出店ということで、事業目的の「継続して」という継続性に関しては充足することができませんでしたが、「学びの場」を提供し、「学ぶことの楽しさ」を知ってもらうことはできました。

参加人数に関しては、当初は毎月5～10人程度の参加を予定していましたが、みらいフェスタでは29人の子どもが参加してくれました。

これは、1か月5名参加として、6カ月に相当する人数ですので、参加人数的にもある程度は達成できたと言えます。

【団体紹介】

明地区こあら食堂の会は、地域の子ども、大人全ての世代を対象とした地域交流の場として食堂やその他行事を開催し、子どもたちや保護者が抱える問題を地域と共有し、互いに支え合い、助け合うことを目的とする団体です。

《問合せ先》

団体名：明地区こあら食堂の会 住所：松戸市松戸新田 472-12

電話：090-1999-5232 FAX：047-702-7308 メール：koalasyokudou@gmail.com

Facebook：https://www.facebook.com/akirachiku.ks 担当者：石塚ゆう

<p>みんなで育て みんなで食べる 沿道での食べられる景観づくり事業</p>	<p>団体名</p>	<p>EDIBLE WAY (エディブルウェイ) プロジェクトチーム</p>
--	------------	--

<p>事業費 112,788 円</p>	<p>自己資金 12,788 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

沿道の住宅や店舗前のスペースで、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」づくりをし、収穫物を使った共食やものづくり活動を行うことで、住民の交流のきっかけづくりや関係構築を図る活動です。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、人が集まるイベントの一部や共食活動を中止にし、以下の活動を行いました。

- ① プランターへ野菜、ハーブ植え付け活動（4-6月・9-10月）：参加者が各自行い、高齢者宅など必要に応じてコアメンバーがサポート。
- ② 剪定枝を活用したクラフトワークショップ（11月2回開催・一部zoom併用）：エディブルウェイが主に活動を行う松戸三丁目東自治会エリアのほかに、エディブルウェイの手法を使ってハーブを育てている岩瀬エリアでもハーブプロジェクトと協働で開催。また、参加者有志でクラフトサインを作成し、エリアのプランターに設置。
- ③ ハーブクラフトワークショップ（3月）：参加者の畑や庭にある植物を一部提供してもらい、ハーブを使ったクラフトづくりを実施。
- ④ 毎月活動レポートなどを掲載した瓦版とお手紙の発行、また、報告レポートをポスティングにて配布。



クラフトワークショップの様子



ハーブワークショップの様子



クラフトサインを設置

令和2年度（2020年度）事業の成果

・食べられる景観づくり活動は、プランターを設置している各家庭（47箇所）で行い、育てている野菜のことが道で会った際の話題になり、水やりなどの世話の際に、通行人の方と挨拶を交わすなどやさやかなコミュニケーションのきっかけとなりました。また、育てた野菜は各家庭や、近所同士等でおすそ分けして食べていただいたそうです。

・ワークショップは3回開催しました。11月は25名、3月は18名参加いただきました。エディブルウェイ参加者以外の地域の方にもご参加いただき活動内容を知っていただきました。植物や季節の行事の資料を作成し、地域環境を学び、ものづくりを行う機会となりました。11月にクラフトサインをプランターに設置したことで、それぞれのプランターを見て楽しむ機会も増えたそうです。参加者からは、遠出する機会が減る中で、地域で楽しめるものができてよかったと喜ばれました。

【団体紹介】 JR松戸駅から千葉大学松戸キャンパスまでの約1kmのエリアで、沿道から見える民地で、お揃いのプランターを用いて地先園芸的に野菜やハーブを育て「エディブル・ランドスケープ（食べられる景観）」をつくる活動や、植物を使ったものづくり活動を通して、人びとのコミュニケーションを生み出すことを目的に活動を行っています。

※沿道のプランターの植物は各家庭で大切に育てています。気になる方はお声掛けください。

《問合せ先》エディブルウェイプロジェクトチーム

[メール] info@edibleway.org [HP] http://edibleway.org/ [Instagram]@edible.way

[Facebook] https://www.facebook.com/edibleway 担当：江口

<p>[生きづらさ・ひきこもり] からだところに栄養を あたえる場づくり事業</p>	<p>団体名</p>	<p>生きづらわーほりプロジェクト</p>
--	------------	-----------------------

<p>事業費 42,935 円</p>	<p>自己資金 17,794 円</p>	<p>助成金 25,141 円</p>
---------------------	----------------------	---------------------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

【目的】ひきこもり当事者に向けて、みんなで料理して食事を「つくり」、美味しく「たべて」、おしゃべりして「わらい合い」、「リラックス」して過ごす場をつくることで、からだところに栄養を与え、社会につながっていくためのエネルギーが得られるようにする。

■ 生きづら Cooking-Meeting 「つたわり」

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、料理や食事をするイベントを開催するのが難しかったことから、みんなで楽しく話し合うだけの内容に簡素化した「つたわりミニ」として開催しました。

ひきこもり当事者・経験者が集まる場を定期的で開催したことにより、ひきこもり状態から一歩を踏み出しやすい状況をつくることができました。



■ ハート to ハートまつど懇談会

ひきこもり当事者・経験者のほか、ご家族、支援関係者、その他ひきこもりに興味・関心のある方が参加して対話交流するイベントを開催しました。前半は、ひきこもり経験者3名によるトークセッションを行い、後半は参加者全員で「茶話会」を行いました。参加者同士の対話を通して、生きづらさを和らげるためのアイデアをシェアしました。



令和2年度（2020年度）事業の成果

「つたわりミニ」は、2020年8月から開始し毎月1回（計8回）開催しました。参加者数は合計で30人（1回あたり3.75人）でした。計画時より開催回数が少なく目標としていた参加者数には届きませんでした。毎回一定の参加者がいました。継続的に開催していくことによって情報が徐々に伝わり、初めての参加者も少しずつ増えてきました。

「ハート to ハートまつど懇談会」は、オンラインでの参加も含め12の方に参加していただきました。参加者はひきこもり当事者・経験者がほとんどを占め、ご家族や関心のある方の参加は少なかったですが、その分特に共通して関心のある「就労」というテーマでの対話を深めることができました。

【団体紹介】

ひきこもりやうつ等により孤立し、生きづらさを感じている人たちに対して本人の想いや行動をサポート・アシストすることによって、本人が抱えている生きづらさがやわらぎ、地域や社会で生き活きと暮らしていけるようになることを目指して活動しています。

《問合せ先》 生きづらわーほりプロジェクト

Mail : zurahori@yahoo.co.jp Web : http://ikizura-wh.jimdo.com 担当 : 富安

<p>介護予防リーダーの育成と 介護予防運動の普及事業</p>	<p>団体名</p>	<p>松戸リーダーズクラブ</p>
-------------------------------------	------------	-------------------

<p>事業費 68,212 円</p>	<p>自己資金 29,212 円</p>	<p>助成金 39,000 円</p>
---------------------	----------------------	---------------------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

- 1 介護予防の知識・技術を提供するリーダーの講習会開催⇒16名参加
- 2 高齢者対象体力測定イベント開催 ⇒45名参加
- 3 青空体操開催（古ヶ崎公園・和名ヶ谷公園会場）⇒100名程参加
- 4 イエトレパンフレット配布⇒コロナ影響下の中、高齢者の健康維持のため自宅でできる体操のパンフレットを500部配布。
- 5 リーダー塾開催⇒リーダー資格者の技術向上の講習会開催。
- 6 オンライン介護予防体操配信⇒馬橋市民センターと市民活動サポートセンターをオンラインでつなげ介護予防体操を提供。参加者：2施設合計60名参加。

オンライン介護予防体操案内です！

介護予防リーダー講習会 皆さん一生懸命！



令和2年度（2020年度）事業の成果

- 1) 第2回介護予防リーダー講習会目標20名⇒参加者16名 <達成率80%>
- 2) イベント事業⇒青空体操・体力測定イベント開催 <達成率90%>
- 3) ステップアップ事業（リーダー塾）⇒参加者26名 <達成率60%>

今年度はコロナ感染という非常事態の中で、1：屋外での「青空体操」、2：自宅で一人でできる「イエトレ体操パンフ作成・普及」、3：オンラインによる「オンライン介護予防体操」等の予定外の活動を行ったことで、今後の介護予防普及の事業展開に新たな未来が見えた気がします。

【団体紹介】

私たち松戸リーダーズクラブは、地域の高齢者を中心とした健康づくりのサポート団体です。高齢者の健康づくりの中心となる介護予防リーダーの育成・介護予防の知識、技術の提供など地域高齢者の健康づくりの事ならどこでも出張します。介護予防リーダーの育成と介護予防運動普及活動に、是非ご協力ください。

《問合せ先》

松戸リーダーズクラブ

住所：〒271-0062 松戸市栄町7-571-46(株)リハビリ総研内

TEL：070-3300-0012

Mail：m.leadersclub@gmail.com

担当：野毛

居場所提供と家出女性保護事業	団体名	NPO 法人仮り暮らし
----------------	-----	-------------

事業費	313,283 円	自己資金	213,283 円	助成金	100,000 円
-----	-----------	------	-----------	-----	-----------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

居場所提供（相談対応の場も兼ねる）については、当法人への相談者だけでなく地域住民も利用できる場として漫画カフェをオープンしました。また、対面相談だけでなく、本人の希望に沿って適切な相談窓口を案内・同行しました。

家出女性保護事業については、相談者（10代から30代までの女性）から相談を受け次第、松戸市内に構えるシェルターに保護し、家族との和解や自立ができるようになるまで生活を共にしました。

家庭復帰・自立支援については、ご家族と電話面談の形で話し合いを促し、家族との会話の間に入ったり、一人暮らしに向けた物件探しで不動産屋に同行したり、基幹相談支援センターなど他の支援機関と連携し次の住まいを確保する手助けをしたりしました。

相談支援については、SNS(Twitter, LINE)やメール、漫画カフェでの対面相談で、相談者が抱える悩みについて適切な相談窓口を案内したり、気持ちの吐露だけで十分な場合には単なる話し相手になったりしました。



漫画カフェ



シェルターの様子

令和2年度（2020年度）事業の成果

居場所提供（相談対応の場も兼ねる）については、平均して2名/月の利用者数でした。

また、相談者に相談窓口を案内・同行し、「怖い」「冷たい」「行っても無駄」という先入観を払拭するとともに、相談者が継続して相談できる環境を作りました。

家出女性保護事業および家庭復帰・自立支援については、令和2年度は9名の女性を保護し、うち6名が家庭復帰、3名が賃貸物件やグループホームに移動しました。3名の内訳は、他自治体の障害者支援や保健所、児童相談所です。

相談支援については、約100件の相談件数がございました。いずれも、単なる話し相手になるだけでなく、相談窓口を案内したり、別のシェルターに繋いだりしました。

【団体紹介】

この法人は、広く一般市民を対象として、保護を必要とする子どもの保護、保護した子どもとその家族の心身のケア、および非正規労働者への職の提供を行うことによって子どもの健全な育成と、非正規労働者への安定した労働環境の提供、就業支援を目的としています。

《問合せ先》

NPO 法人仮り暮らし

千葉県松戸市稔台 7-62-1 針ビル 102 号

メール：info@karigurashi.or.jp ホームページ：https://karigurashi.or.jp 徳永晃代

坂川水系自然環境向上事業	団体名	坂川の花桃を愛する会
--------------	-----	------------

事業費	115,120 円	自己資金	15,120 円	負担金	100,000 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

新松戸坂川放水路エリアは、自然に恵まれた素晴らしい住環境に発展しておりますが、自然環境の向上は長期的で地道な活動が必要です。活動のテーマは、河川の水質・魚・水鳥・貝土手の草花・樹木など広範囲にわたり、有識者を含む関係者との協力や支援を推進します。

本年は特に ①子ども達との「サツマイモ生育事業」②「花桃の補植事業」③子ども達との「清掃活動」について取り組みました。

私たちの会の目的である *多世代交流 *地域住民とのコミュニケーション *環境意識の向上を目指して活動しました。



坂川の花桃



サツマイモ畑



花桃の苗



学童と清掃活動



ゴミの山



冬の水鳥

令和2年度（2020年度）事業の成果

①「サツマイモ生育事業」

新松戸西小の1年生・5年生100名、ドッジ・ソフト50名、子ども会100名、学童50名計300名の子ども達とその保護者・先生など合わせると350名が参加して自然を満喫。

②「花桃補植事業」

ボランティア20名、会員30名で枝の剪定・から補植まで実施。

③「坂川放水路右岸の清掃活動」

環境意識の向上を目指し、学童30名にボランティア15名が参加し、道路脇や土手法面に不法投棄されたゴミを回収し分別処理。

【団体紹介】

新松戸の坂川放水路右岸に国交省の手で植樹された「花桃」を地域の皆さんで育て、愛し以って自然環境向上を目的として活動している団体です。会員は約80名で「春・秋の集い」を開催し、「文化講演会」や「横須賀親水護岸イベント」など実施しております。

《問合せ先》

会の名称：「坂川の花桃を愛する会」 代表：太田 隆義 Eメール：taka.niko.ota@gmail.com

音楽活動による街の活性化事業	団体名	松戸音楽活動同好会
----------------	-----	-----------

事業費	136,302円	自己資金	36,302円	助成金	100,000円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

令和元年秋に令和2年度事業の取組み計画を終え準備を始めつつ年を越しましたが、春からコロナが猛威をふるい始め、結果的にコロナ禍に一年度中翻弄されてしまいました。

A・企画運営主催地域活動事業であるハッピーコンサート5・6・7回及びニコニコ交流音楽会は本番に向けての練習や出演者との調整、リハーサル等や事前に準備していたチラシ・歌詞カード作成や後援申請等や会場予約の事務手続含めて準備と感染予防対策に力を注ぎましたが、全て開催直前に中止せざるを得なくなりました。

ニコニコ交流音楽会では、120名を超える来場申込者に対する中止報告は対応に四苦八苦しましたが、サポセン音楽祭開催においては早めに決断を行い、実行委員会を開催した時点で中止を決定しました。公開講座や松音サロンも早い時期に中止を決めました。

音楽イベント開催の為に練習はコロナ感染予防対策を万全に行いつつ、合唱練習が可能な場所を選んで年間37回行いました。

福祉施設訪問音楽事業においてもコロナ禍中であつたため訪問できませんでしたが、皆で歌ってもらえるよう、DVDを作成して施設に贈呈しました。福祉施設側に喜んでもらえたと思いますので、今後オンライン配信やYou Tube動画作成を中心の活動を進めていきたいと思ひます。

B・参加事業活動も同様で、今年度末の「みらいフェスタ」の出演が唯一の参加事業となりました。子供たちの祭典でありましたが、多世代が楽しめる音楽活動をめざして発信し、手ごたえを感じました。

令和2年度（2020年度）事業の成果

ハッピーコンサート	3回開催	→	0回	開催
ニコニコ交流音楽会	1回開催	→	0回	開催
サポセン音楽祭	1回開催	→	0回	開催
その他 音楽会	3回開催	→	0回	開催
福祉施設訪問	30回訪問	→	0回	訪問
練習活動	36回活動	→	37回	活動



* 主催事業開催の目的は果たせませんでしたが、練習は着実にいき、その成果は令和3年度以降に必ず繋がっていくと確信しています。今回開催に向け準備していたものが全て消えてしまった悔しさと、蓄えたノウハウやエネルギーを会員全員が一致団結して来年度以降に繋げていき、音楽で街や人を元気にしていき、音楽の灯をともし続けていく決意を再確認できました。

【団体紹介】

音楽を楽しみ交流を深め明るく楽しい元気な街作りを目指している市民活動団体です。発足から7年経過し、福祉施設訪問音楽会400回、音楽祭やコンサート等15回主催、出演もしています。講師を招いた練習は年36回程度行っています。会費は900円/月です。歌の好きな方大歓迎いたします。

《問合せ先》**松戸音楽活動同好会**

住所：松戸市上矢切1129-8 電話：090-9686-6793

Email: matsudo.ongaku.kd@gmail.com HP: <https://matsudoongakukd.wixsite.com/> [武石 章作]

冒険山開放に伴う見守り事業	団体名	冒険山開放委員会
---------------	-----	----------

事業費	170,943 円	自己資金	70,943 円	助成金	100,000 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

- (1) 学校開放日 全5回 / 子どもの参加48名 / 見守り 約20名
 毎月第1、第2日曜日は小金北小学校の開放日で、校庭で遊ぶ子供たちの見守り活動を実施しました。昔ながらの遊び道具（竹馬、けん玉、竹とんぼ、駒、ぽっくりなど）を揃え一緒に遊びながら併せて指導も行いました。コロナ禍の中で子どもたちの参加は少なくなってしまいました。※4月～7月、2月、3月は学校開放中止
- (2) 冒険山全体の草刈り 全2回 / 19名参加
- (3) 小金地区地域づくり交流会 3名参加
- (4) 焼き芋の集い / 子どもの参加102名
 打ち合わせ、芋洗い、焼き芋機でのテスト製造を経て11月22日に中金杉浅間公園で実施
- (5) 凧揚げ大会に向けた練習会を実施したものの大会は中止



令和2年度（2020年度）事業の成果

・今年度はイベントとして凧揚げ大会と焼き芋の集いを企画しましたが、緊急事態宣言により凧揚げ大会は中止としました。焼き芋の集いに参加した子どもは予定を大幅に上回り102名となり、付き添いの大人と担当スタッフを入れると200名を越えました。感染対策には最善を尽くし感染拡大の防止に努めました。参加者の名簿が把握でき今後の企画に生かします。高学年の子どもたちには火起こし体験を実施しましたが、火をつけた経験のない子どもがほとんどで、とても印象に残ったようです。

【団体紹介】

「子どもたちの健やかな成長を願って」が冒険山開放委員会のテーマです。
 冒険山とは子どもたちが遊びの中で学び、助け合いの心と仲間意識を育て、冒険、挑戦の体験を全身で体感できる場所です。毎月第一、第二日曜日の小金北小学校の開放日に待っていますので是非とも遊びに来てください。

問い合わせ先

冒険山開放委員会 [住所] 松戸市中金杉2丁目22 [電話] 090-2437-4313
 [FAX] 047-340-0006 [メールアドレス] t-ishi@vanilla.ocn.ne.jp 総務担当 石崎建夫

<p>イベント型＋交流型の居場所 「悠々」の提供事業</p>	<p>団体名</p>	<p>NPO 法人さわやか福祉の会・ 松戸くらしの助っ人</p>
------------------------------------	------------	--------------------------------------

<p>事業費 272,858 円</p>	<p>自己資金 172,858 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	-----------------------	----------------------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

目的：従来の『悠々』では何かイベントを提供しながら居場所提供をしていましたが、本事業では異年齢交流の交流型の居場所として、【いつでも立ち寄れていつでも帰れる】【誰もが利用できる】【時間を自由に過ごせる】【経験や能力を生かせる】【自分の存在を認識できる】など、人と人のつながりが生まれ、助け合う関係になれる居場所も提供する。

本事業の提案理由：本事業の背景には、従来のイベント型居場所『悠々』の課題（順不同）は、

- ✓ イベント講師を平日 23 日間／月、毎回探すのが難しい。
- ✓ イベント型の良さもあるが、誰もが自由に過ごし自分の経験を生かした居場所になり難い。
- ✓ 異年齢交流の場となり難い。
- ✓ 現状の悠々では必ず助っ人会員スタッフが同席しており、スタッフの負担が大きい。

これら課題を解決するために、「イベント型」＋「交流型」の居場所『悠々』の提供を事業内容とする。



「悠々」パソコン教室



「悠々」楽しい書

令和2年度（2020年度）事業の成果

○ 設定目標：本提案事業のイベント型＋交流型の『悠々』の成果目標は、

年間開催回数＝150回／イベント型、120回／交流型
 延べ参加者数＝500名／イベント型、360名／交流型

● 目標達成状況：

上記設定（2019/9）であったが、2020年度のコロナ感染拡大に伴う2度の緊急事態宣言の影響で、下記のごとく、残念ながらどちらも目標達成できなかった。

年間開催回数＝86回／イベント型、2回／交流型
 延べ参加者数＝459名／イベント型、4名／交流型

【団体紹介】

「おしきせでない、お金もうけでない、お互いさまの気持ちで、」をモットーに、介護保険や公的サービスでは賅いきれない部分をボランティアとして支えている団体です。

《問合せ先》

NPO 法人さわやか福祉の会・松戸くらしの助っ人

〒270-0034 松戸市新松戸3-28 TEL&FAX：047-340-3314 e-mail：suketto_org@yahoo.co.jp

ホームページ：https://mtdsuketto.wixsite.com/suketto/ 担当者：松下 明子

働くおとなのホッとできる 居場所づくり事業	団体名	まちなす・Labo
----------------------------------	-----	-----------

事業費	104,556円	自己資金	12,428円	助成金	92,128円
-----	----------	------	---------	-----	---------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

新型コロナ感染の影響により、事業内容の修正などをその都度行い実施。感染拡大予防対策のためにオンラインサロンを実施し、リアル開催においては人数制限をするなどして10月～「働くひとのまちなか保健室」を開催した。そんな中、「音楽と健康をテーマにしたイベント」を12月にリアルとオンラインのハイブリッド形式で実施することができた。また、新型コロナ感染予防対策として、予定していたサービス内容を縮小しての開催になったため、アロマハンドマッサージは行わず、イベントも縮小した形で保健室に参加してくれた方々に対して「セルフケア法」のミニ講座を実施することにした。



令和2年度（2020年度）事業の成果

コロナ禍において、状況に合わせて計画を変更し、実施を試みたが、実際には課題や事業の目的に対して、目に見える成果は少なく、残念ではある。まちなか保健室を利用してくださった方や、イベントに参加してくれた方においては、「参加してよかった」との声をいただくことが多いので、傾聴や健康情報の発信に際して、お役に立てていると考える。もっと周知していきたい。

事業名	実施回数	参加者数
働くひとのまちなか保健室	4回	6名
スペシャルイベント	1回	リアル：5名 オンライン：8名
オンラインサロン	5回	10人
オンライン相談	—	5人

→予定したが、申し込みなく、中止することもあった。

【団体紹介】

まちなす・Labo：健康・未病・セルフケアをテーマに活動しています。学校にある「保健室」のような機能を持ち、癒しと安心が得られる居場所づくりを心がけています。この活動は、看護師を中心として始めた事業の1つです。

《問合せ先》

団体名：まちなす・Labo

電話：090-8500-7512 Eメール：machinaka.nurse@gmail.com

Facebook： <https://www.facebook.com/machinakahokenshitu>

担当者：国府田

子育てが楽しくなる 地域コミュニティ事業	団体名	なないろのもり
-------------------------	-----	---------

事業費	232,300 円	自己資金	132,300 円	助成金	100,000 円
-----	-----------	------	-----------	-----	-----------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

事業目的の「子どもも大人も一緒に楽しい時間を共有できるような、親子で参加できるイベントの開催」は、コロナ禍において多くの規制や変更を余儀なくされましたが、感染対策を講じながら開催時期や開催方法を変更して、今できる最善案を模索しながら3事業を実施しました。

- 夏の体験会の実施（夏まつり・夏のまなび・あそびの場→オンライン配信の夏の体験会）
- クリスマスフェスティバルの実施（ステージのオンライン配信や完全予約制の3部入替え制）
- 春休み体験会の実施（冬休み→春休みに時期をずらして、オンライン併用のパン講座、完全予約制で少人数の対面講座、プログラミング・フラワーアレンジメント・パラコードキーホルダー作り）

1. オンライン配信の夏の体験会



2. Xmas ステージ
(オンライン・予約入替制)



3. オンライン併用パン講座



令和2年度（2020年度）事業の成果

事業全体としては来場者目標の60%の達成率となりました。

- 夏まつり・学び・遊びの場の来場者は延べ130人を目標とする。→60名に配信
- クリスマスフェスティバルの来場者は700人を目標とする。→420名（オンライン観覧含め）
- 冬の参加者は30人を目標とする。→春の体験会として40名
- 登録者は10人を目標とする。→今年度は募集中止

【団体紹介】

子育てが楽しいと感じる街づくりを目標に、親子で一緒に楽しめ、人と人が繋がれるイベントを開催。地域と繋がり、今しかない子育ての時期を楽しめる環境づくりを目指して活動しています。

《問合せ先》

団体名：なないろのもり

Eメール：7iromori@gmail.com

ホームページ：http://7iromori.jimdo.com/

<p>野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！ 地域猫スタートサポート 相談会事業</p>	<p>団体名</p>	<p>松戸地域猫スタートサポート</p>
---	------------	----------------------

<p>事業費 163,318 円</p>	<p>自己資金 63,318 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

国をはじめ都道府県、そして市町村も、飼い主のいない猫を増やさないように『地域猫活動』を推進しています。

2年前にこの事業を始めてから、この地域猫活動は、松戸の環境や小さな命の大切さを子供達にも知ってもらおう事、治安悪化防止など幅広い事にまで影響してくると周知していますが、まだまだ広く知れ渡っていないと感じ、試行錯誤しています。

令和2年度も松戸市内の公共施設を回り、セミナー・相談会を開催しました。地域猫活動とは何をするのか、動物愛護法を守りながら屋外猫を安全に捕獲する方法や新しい家族を探す方法などを基本に、一通りの流れを参加者の皆様に説明して、トラブルや活動時の悩み等をフォローしました。

新型コロナウイルスの影響で一時期、相談会の開催が出来ませんでしたでしたが、多くの市民の方から相談会開催のご要望を頂きました。令和2年度はお伝えしていた大胆な周知活動が出来なかったため、令和3年度は必ず大胆に活動の周知をして多くの皆様に参加して頂きたいと考えています。



令和2年度（2020年度）事業の成果

年度の初めは相談会の開催を中止していましたが、多くの市民の方から励ましのお言葉と、「相手は動物、生き物なので活動を止めたら振出しに戻さないように」等のお言葉を頂きました。開催日数は減りましたが合計 83 名と予想以上に多くの方に参加頂き、年度最終日まで本事業のセミナー・相談会を無事に終えることができました。そしてとても増えたのが電話相談で、延べ 68 件と予想以上の件数になり驚きました。参加者や電話相談者にアンケートを取った結果 98%の方は地域猫活動に対して理解できてとても為になったという結果になりました。残りの2%の方に対しても引き続き交流を持って現場のお手伝いなどをして、最終的に良い結果になるように活動していきたいと考えています。

【団体紹介】

外にいる飼い主のいない猫は**野生ではありません**。現代では刑事罰になりますが、法律がきちんと整備されていない時代に身勝手な人間がきちんと家族として最期まで面倒を見ずに遺棄して増えました、それを食い止める合法的な方法を周知する活動をしています。人間の責任として『動物が好きだから、苦手だから、どうでもいい』と考えるのではなく環境美化や治安悪化防止、子供の心の教育などと広く結びつけて考え、皆が住みやすい街づくりの1つとして、飼い主のいない不幸な猫が増えないようにする事に御理解と御協力をお願いします。この活動でご近所トラブルも無くしましょう！

《問合せ先》松戸地域猫スタートサポート

電話番号：080(3405)8986 担当：川野 ひろし

Web サイト→



プレママ教室事業	団体名	ぶぶぶママ大学
----------	-----	---------

事業費	108,963 円	自己資金	10,897 円	助成金	98,066 円
-----	-----------	------	----------	-----	----------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

新型コロナ感染拡大の影響に伴い、動画配信の「ビジュアル講座」に変更しました。9/13、11/29、3/28は感染予防対策をしながら、事業計画の通り金ケ作熊野神社で対面講座を開催しました。

講座内容 産前に向けて：わらべうた胎教マッサージ（わらべうたを歌いながらストレッチやセルフマッサージをする）と胎教のすすめのお話、赤ちゃんのお世話の気持ちの準備、妊婦期の過ごし方や食事のアドバイス、愛着形成。産後に向けて：赤ちゃんを知るための反射・眠り・生活・お世話の仕方、松戸市や民間のサポート制度の紹介、育児うたやわらべうたや歌遊び。育児を楽しめるように動画を作成。

開催実績 ビジュアル講座の配信回数は28回。金ケ作熊野神社の対面講座は計画通り3回。活動総数は31回。参加実数は72組。

リピート参加も含めた参加総数は221組。

（昨年は参加実数31人、参加総数50人）

工夫点 動画だから見られる本物の赤ちゃんの沐浴姿や、細かいお世話の様子、育児うた、わらべうたなどの歌遊びも取り入れました。



令和2年度（2020年度）事業の成果

- ・動画配信形式であったため、ビジュアル講座では本当に視聴されたのか、パパも視聴されたのか実態が判断できませんが、1回の視聴参加数は6～17組で、講座1回につき10組という計画目標はほぼ達成できました。講座視聴後にお願いしている感想や意見は全体の25%ほどの返信があり、感想や意見は好評価でした。動画配信のため自宅で参加でき、プレパパさんも参加しやすくなったのか、視聴者の感想ではプレパパさんの感想が全体の三分の一ほどありました。
- ・マタニティヨガを計画していましたが、ヨガ講師から実際に見てないところでのヨガは危険があるというこだわりもあり、ストレッチに変更し、セルフケアを毎回配信しました。愛着形成や子育てに関する制度の紹介なども、動画で丁寧に説明ができました。
- ・対面講座の参加は1組～4組の参加があり、少しの時間ですが意見交換ができました。
- ・会員協力者は30名を計画目標としていましたが、コロナ禍の自粛期間が長かったことから、18名となりました。

【団体紹介】 プレママたちを応援する団体です。もちろんプレパパの参加も大歓迎。良いお産が良い育児のスタートとなることから、より良い出産に向けて、また育児に役立つ、プレママ教室を企画・運営しています。

《問合せ先》ぶぶぶママ大学 代表 佐々木 司

[TEL] 080-6661-1966 [H P] <https://www.bububumamadaigaku.com>

<p>歴史ある団体や地域企業との協働による地域発展事業</p>	<p>団体名</p>	<p>北小金ドリームプロジェクト</p>
---------------------------------	------------	----------------------

<p>事業費 87,120 円</p>	<p>自己資金 33,228 円</p>	<p>助成金 53,892 円</p>
---------------------	----------------------	---------------------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

- ・北小金の既存団体と連携して、北小金の街の良さを在住者だけでなく他市・他県にアピールして、年間を通じて訪ねてもらえる楽しい街・活気ある街づくりを行うためにハロウィンイベント・クリスマスイベントを計画していたが、コロナ禍のため開催を断念した。
- ・感染対策に配慮しつつ小規模で開催しようと計画していた朝市も、感染者数増加によりやむを得ず断念した。
- ・第1回緊急事態宣言時に飲食店を応援するプロジェクトを発足し、フェイスブック等のSNSにてテイクアウト情報（北小金持ち帰り飯）を発信、第1回緊急事態宣言解除後からはイートイン情報（北小金グルメ）も追加発信している。またインスタグラム・ツイッター・ブログにおいては、北小金の街の情報も随時発信している。
- ・北小金ドリームプロジェクトの活動や観光スポット以外に店舗紹介リーフレットを作成・配布した。



令和2年度（2020年度）事業の成果

- ・コロナ禍により、全てのイベントを中止せざるを得なくなり、イベントを通じて隣市・隣県からの人を集めることが出来なかった。
- ・しかし、北小金応援プロジェクトを立ち上げたことにより SNS 合計のフォロワー1500人と、目標の1000人を上回ることが出来、北小金在住者でも知らなかった店舗を知っていただくことが出来たが、SNSをされていない方への発信方法を今後も考えていきたい。



Facebook



Instagram



Twitter

【団体紹介】

北小金駅周辺の商店及び事業を営む者が、活力と魅力ある地域づくりをめざし、地域経済の発展を次世代にも繋げていけるよう活動しています。

《問合せ先》

北小金  ドリームプロジェクト
Matsudo

kitakogane.dream.pro@gmail.com

https://www.kitakogane.com/

遠山

HP



<p>外国人の子どものための 新教室設立事業</p>	<p>団体名</p>	<p>認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会</p>
--------------------------------	------------	-------------------------------------

<p>事業費 453,617 円</p>	<p>自己資金 153,617 円</p>	<p>助成金 300,000 円</p>
----------------------	-----------------------	----------------------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

事業目的：新松戸教室の設立

ボランティア・スタッフを募集、日本語ボランティア養成講座を実施。



養成講座風景

養成講座修了者のうち10名がボランティア・スタッフとして正式加入。



生徒たちの自己紹介風景

4月1日、まつど広報、地域情報誌、チラシなどで募集を開始。5月開始予定がコロナ禍の影響で7月開始となったが、ボランティア候補者15名、新松戸市民センター3階の市民活動支援コーナーに集結。感染防止対策を万全に整え、講習を実施。いきなりの実践授業形式指導に戸惑いながらも全員無事に9回の講習を修了しました。

9月2日、小中学校の生徒6名でスタート。途中3名の生徒が加わり、保護者達の熱い期待を受け、スタッフはそれぞれに思いを込めて熱心に指導。進学希望の中学3年生は全員無事、高校に入学しました。
今年度、教室は引き続き当会
新松戸教室として活動を開始しています。

令和2年度（2020年度）事業の成果

新教室設立事業を目的として下記課題をクリアし、予定通り事業を達成した。引き続き2021年新学期から本教室として活動している。

1. 場所の確保； 教室：新松戸市民センター内 支援コーナー及び会議室
書庫：NPO法人 さわやか福祉の会 松戸くらしの助っ人
2. 新スタッフの確保；養成講座での募集結果、20名参加 10名が新スタッフとして登録
3. 参加生徒の確保；10名以上の目標設定に対し9名の生徒で教室運営
内訳 中学3年4名、中学1年3名、小学5年2名
4. 教材の購入、整備；助成金の活用で十分な教材の購入、確保を実現

【団体紹介】

2003年9月NPO法人を外国人の子どものための学習支援を目的とした会として設立。現在、松戸市内3か所に教室を設け、小中学校に通う子供たちに、ボランティア・スタッフ約60名が各教室で

- 1) 自立、学力向上のための日本語学習
- 2) 英数国等の学習
- 3) 高校受験支援を行っている。

《問合せ先》

認定 NPO 外国人の子どものための勉強会

〒270-0034 松戸市新松戸7-517 電話・FAX: 047(345)2051

Eメール：gaikokukodomo@msn.com 理事長 海老名 みさ子

ホームページ：http://gaikokukodomo.wordpress.com/

松戸市における 災害支援の文化を創造する事業	団体名	特定非営利活動法人 ディープデモクラシー・センター
-----------------------------------	-----	------------------------------

事業費	315,562 円	自己資金	78,159 円	助成金	237,403 円
------------	-----------	-------------	----------	------------	-----------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

多発する自然災害に向けて、行政、ボランティア、NPOの三者連携の必要性が高まるなか、松戸市においても、三者連携の促進を目標に、災害支援の文化を創造するための連続講座を開催いたしました。



※以下表中の【リ】：リモート開催

講座 1 「被災地で支援を続けるということ」（一般社団法人ピースポート災害支援センター 川村勇太さん・川村美保子さん）	講座 6 「自然災害発生時のボランティアコーディネートとは」（特定非営利活動法人 ADRA Japan 小出一博さん）
講座 2 「災害発生時の IT 支援について考える」 【リ】（情報支援レスキュー隊 佐藤大さん）	講座 7 「台風 15 号（令和元年房総半島台風）からの 1 年を振り返る」（千葉南部災害支援センター 加納基成さん）
講座 3 「三者連携-災害に備えた地域のネットワークづくり」【リ】（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 明城徹也さん）	講座 8 「災害発生時の中間支援組織の役割を考える」（ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 鍋嶋洋子さん）
講座 4 「NPO として関わる災害ボランティアセンター」【リ】（一般社団法人ピースポート災害支援センター 上島安裕さん）	講習会 1 「今後の台風被害に備えて」（一般社団法人ピースポート災害支援センター 川村勇太さん・川村美保子さん）
講座 5 「災害発生時の避難所運営について学ぶ」 【リ】（国際青少年センターYMCA 東山荘・日本 YMCA 研究所 山根一毅さん）	ワークショップ 1 「災害に備え、地域資源の見える化をしよう！」（特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター 加納基成さん）

令和2年度（2020年度）事業の成果

参加団体 18 団体、参加人数 129 人。新型コロナウイルスの感染拡大により、参加者数、参加団体数は目標に達しなかった。松戸市における NPO・市民活動団体の災害対応力の不足、受援力やコーディネート力の不足という課題を見える形で解決することはできなかったが、中間支援組織や行政担当課と災害時における三者連携の必要性の理解を促進することはできた。

【団体紹介】

社会の多様性を重視し、自治・自律・自給型地域づくりを推進する個人、市民団体に対してその活動の助言、支援に関する事業、および、その人材の育成に関する事業を行い、住民参加による市民社会の成熟、発展に寄与することを目的に、活動しています。

《問合せ先》

特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター

千葉県松戸市常盤平 2-9-6 第 5 石川ビル 3F TEL047-701-5350 FAX050-3737-9081

E メール info@deepdemocracy.center Web サイト www.deepdemocracy.center

よく生きよく逝くための 基礎知識普及事業	団体名	一般社団法人コスモス成年後見 サポートセンター千葉県支部
-------------------------	-----	---------------------------------

事業費	42,888 円	自己資金	33,413 円	助成金	9,475 円
-----	----------	------	----------	-----	---------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

「人の死」にまつわる様々な問題について講義をし、その解決に有用なエンディングノートの作成をワークショップを通じて参加者に体験、理解を深めていただくことを目的とし、以下のような内容で実施した。コロナ禍のため検温、手指消毒、換気等には特に注意した。

(1) 六実六高台地域での実施

(六実六高台地域包括支援センターと連携)

日時：令和2年8月27日（木）10:30～11:30

場所：六実市民センター ホール



(2) 新松戸地域での実施

(新松戸地域包括支援センターと連携)

日時：令和2年9月6日（日）10:30～11:30

場所：新松戸7丁目集会所



(3) 明第一地域での実施

(明第一地域包括支援センターと連携)

日時：令和2年10月27日（火）10:30～11:30

場所：松戸勤労会館 ホール

(満員のため令和3年1月29日も実施)

令和2年度（2020年度）事業の成果

コロナ禍にも関わらず熱心な多くの市民の方のご参加をいただいた。「介護」「医療」「死亡時の手続」「その後の事務」について、介護・医療・法律の専門家が行政と緊密に連携して取り組む必要性について、参加者の市民の方々だけではなく、地域包括支援センター関係者の方々にもご理解いただくことができた。参加者数は実施3会場の合計で73名（六実六高台：16名、新松戸：20名、明第一：37名）。エンディングノートの配付数も合計150冊と好評をいただくことができた。

【団体紹介】

平成25年10月25日設立。会員数は92名、全員が行政書士の資格を有する。

市町村他地域包括支援センター等公共の機関からの相談対応、高齢者等の財産管理・身上保護他権利擁護に関する直接支援、支援者に対する相談・支援事業を主たる活動とする。

《問合せ先》

一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター千葉県支部

〒277-0025 千葉県柏市千代田3丁目15番29号

電話 04-7138-5869 FAX 04-7138-5869

Eメール taira.homeoffice@gmail.com URL <http://www.cosmos-chiba-koken.net/>

担当者 松戸管轄長 平 航人（たいら こうと）

ギャンブル依存症予防啓発事業	団体名	公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会
----------------	-----	---------------------------

事業費	302,220円	自己資金	59,269円	助成金	242,951円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和2年度（2020年度）事業の取り組み【報告】

当会は日ごろの活動の中で、依存症についての誤解や偏見が多く、実際に依存症の問題に苦しむ人たちが、解決に繋がりにくくなっている現状を実感しています。依存症問題は身近で、問題の解決には様々な手立てがあり、回復できることを多くの方に知っていただき、解決につながってほしい、との願いから「知ろう！依存症基礎講座 ～高知東生氏と精神科医に学ぶ～」の講座を企画しました。

コロナウイルス感染予防に伴う緊急事態宣言が発令され、講座の開催さえもどうなるかわからない状態でしたが、とりあえず実施を見込んで、直接集まることを極力避けてLINEなどを活用し、役割分担や内容を打ち合わせしました。また、多くの方に参加してもらえるように、広報活動として各所へ出向き、チラシの配架を依頼したり、郵送で送りました。

緊急事態宣言が解除され、無事、11月21日に市民劇場にて開催することができました。

講師として昭和大学附属烏山病院 常岡俊昭先生、ASK 依存症予防教育アドバイザー・俳優 高知東生氏、(公社)ギャンブル依存症問題を考える会 代表理事 田中紀子3名が登壇しました。



令和2年度（2020年度）事業の成果

講座当日は一般参加が112名あり、事前に設定した「参加者150人」の目標は、コロナ禍の状況ではほぼ達成されたと思っております。また、当日実施したアンケートによると、「依存症に対する理解が深まった」等の好意的なコメントが50通寄せられ、これは参加者の約5割にあたります。さらにSNSでも当日の参加者の「よかった」との感想が複数投稿されました。

アンケートのコメントからも、多くの参加者が講座前よりも理解を深められたことがうかがわれ、依存症の理解を深めてもらうという目標は達成できたと考えています。

【団体紹介】

当会は、ギャンブル依存症でお困りの当事者や家族に必要な情報や援助の提供を目的として結成されました。また、依存症全般に対する誤解や偏見を払拭し、より良い支援体制が構築されるよう社会にも働きかけています。

《問合せ先》 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会

住所：〒104-0033 東京都中央区新川1-21-5 茅場町タワー105号室

TEL：03-3555-1725 FAX：03-6222-8128

<http://www.gamblingaddiction.jp/>

協働のまちづくり基金

令和2年度は 市民活動助成事業

22事業 を応援しました！！

スタート助成				
地域の学び場創出 「寺子屋こあら」事業 P2	みんなで育て、みんなで食べる 沿道での食べられる景観づくり事業 P3	[生きづらさ・ひきこもり]からだとこころに栄養をあたえる場づくり事業 P4	介護予防リーダーの育成と介護予防運動の普及事業 P5	居場所提供と家出女性保護事業 P6
坂川水系自然環境向上事業 P7	音楽活動による街の活性化事業 P8	冒険山開放に伴う見守り事業 P9	イベント型+交流型の居場所「悠々」の提供事業 P10	働くおとなのホッとできる居場所づくり事業 P11
子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業 P12	野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談会事業 P13	プレママ教室事業 P14	歴史ある団体や地域企業と協働による地域発展事業 P15	
ステップアップ助成				
外国人の子どものための新教室設立事業 P16	松戸市における災害支援の文化を創造する事業 P17	よく生き、よく逝くための基礎知識普及事業 P18	ギャンブル依存症予防啓発事業 P19	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業 P20

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりほとんど活動できなかった事業については掲載していません。

【 協働のまちづくり基金とは 】

市民、市民活動団体、事業者の皆様から寄せられた寄附金及びその同額を市費で積み立てるマッチングギフト方式を取り入れた基金です。この基金がまちを明るく元気にする「市民活動助成制度」の原資となっています。

市では、皆様からの寄附金のほか、チャリティー自動販売機の設置を通じて基金を育成しています。市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

HP 松戸市トップページ ▶ くらし ▶ 市民活動 ▶ 協働のまちづくり（市民活動の活性化と協働の推進）▶ 協働のまちづくり基金

http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/kikin/index.html

令和2年度 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(敬称略)

ご寄附頂きました皆様にお礼申し上げます。

- ・ 東京キリンビバレッジ株式会社
- ・ コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
- ・ 洗濯屋あべ
- ・ サントリービバレッジサービス株式会社

※公開希望のみ掲載

- ・ ほか、チャリボンを通じて寄附にご協力いただいた皆さま





松戸市協働のまちづくり基金 寄附募集中！！

豊かで元気な松戸市を目指して、市民活動を寄附で応援しませんか？
いただいた寄附は、市内で地域課題の解決のために活動する団体に助成金として交付されます。

「協働のまちづくり基金」は、皆さんからいただいた寄附金と、その寄附金と同額を市の財源から合わせて積み立てる「マッチングギフト方式」を取り入れています。



寄 附 の し か た

- ・チャリティー自動販売機
で寄附する！

市内に15台あるチャリティー自動販売機で飲み物を購入すると、売上金の一部が寄附されます。



まつど市民活動サポートセンター
などに設置しています。



詳しくは
市ホームページで

- ・チャリボンで寄附する！

いらなくなった本をチャリボンに送ると、その本の買取査定額が寄附されます。

CHARITY
BY THE BOOK

- ・窓口で寄附する！

市役所の窓口や銀行振込で直接基金に寄附できます。

寄附をお待ち
しています！



令和3年6月

発行

松戸市 市民部 市民自治課

〒271-8588 松戸市根本387-5

TEL 047-366-7318

FAX 047-704-4009

E-mail mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp